

風水害で起こりそうな被害を考える

項目	地図への記入の仕方
<input type="checkbox"/> 浸水しそうな地域	青色の油性ペンで囲みます
<input type="checkbox"/> がけ崩れや土砂崩れがおきそうな場所	赤色の油性ペンで囲み斜線を入れます
<input type="checkbox"/> 水があふれてそうな側溝や水路	青色の油性ペンでなぞります
<input type="checkbox"/> 道路を流れる雨水 →道路に川のような水が流れることがあります。急勾配のある道路で流れが強く、流れる水で流されるような危険がある場所を地図上で見つけます。またマンホールのフタが浮いて外れてしまうこともあります。	赤色の油性ペンで流れる方向を記入します 赤色の油性ペンでマンホールの場所に丸い印をつけます

※必要に応じて考えた被害の様子をふせん（メモ）に記入して該当する場所に貼るか、もしくは、該当する箇所から引き出し線を引いて見やすい場所に貼ってください。

（例示）家の前の側溝（道路に沿って設ける排水溝）があふれて道路が浸水 など